

 学校だより 10月号 令和7年10月1日発行	朝霞市立朝霞第一中学校 〒351-0013朝霞市膝折2-31 TEL: 048-461-0076 FAX: 048-467-4741 E-mail: lchuu@asaka-s.ed.jp
目指す学校像 希望を胸に未来へ前進する学校	



命の大切さ



校長 唐松 善人

私が小学校に入る前の話です。それは、1月のとても寒い日のことでした。私の父と母がこたつに入っていて、私とその周りを走り回っていました。そのとき、私が母の足の裏を踏んでしまったのです。母は、いきなり、声をあげて泣き出しました。私はびっくりして、「ごめんなさい。ごめんなさい」と何回も謝りました。母は「大丈夫」といいましたが、それでも泣き続けたのです。それを見ていた父も、なぜか、眼に涙を浮かべていました。足の裏を軽く踏んだだけなのに、どうして母が声をあげて泣いたのか、さらには、父が眼に涙を浮かべていたのか、当時の私には全く分かりませんでした。

私が中学生になったとき、たまたま、そのときのことを思い出して、親戚の叔母にその話をしました。叔母は、その日は、実は私の弟の命日であったということを話してくれました。こたつの件があった3年前、母のお腹の中には赤ちゃんがいました。しかし、出産予定日を過ぎててもなかなか生まれてこなかったそうです。そして、病院に行き、お腹から出てきたときには、すでに赤ちゃんの命は亡くなっていました。叔母の話では、シーンとした病室に、母親の泣き声だけが響いたのだそうです。

その日から数年たって、私の弟の誕生日になるはずだった日に、弟のことを思い出して、父と母は泣いたのです。中学生であった私はこのことを聞いて、自分の命を大切にしようと思いました。生まれてくるはずだった弟の分までしっかりと生きようと思いました。そして、自分の命だけではなく、周りの人たちの命も大切にしたいと思いました。

さて、本校には、現在、909名の生徒がいます。この909名の一人一人が、この世の中にたった一人しかいない、かけがえのない、大切な存在です。そして、この909名の生徒には、一人一人にそれぞれのよさがあります。この一人一人のよさとは、他の人と比較して生じるよさではありません。この一人一人のそれぞれのよさは、保護者の方や親戚の人、小学校時代の先生、地域の方々など多くの人たちが、それぞれの生徒に愛情を注ぎ、育ててきたものなのです。本校の生徒一人一人に、「自分はこの世の中にたった一人しかいないかけがえのない存在なんだ。そして、その自分のことを大切に思っ育ててくれる人がいるんだ」ということを自覚してもらい、自分自身を大切にするとともに、周囲に感謝できる大人に成長してもらいたいと考えます。

